



# 晴天の心

立教 188 年 7 月号  
大阪府富田林市寿町 4-9-10  
URL: [www.tomiishi.net](http://www.tomiishi.net)  
TEL: 0721-23-3466 090-5243-4669



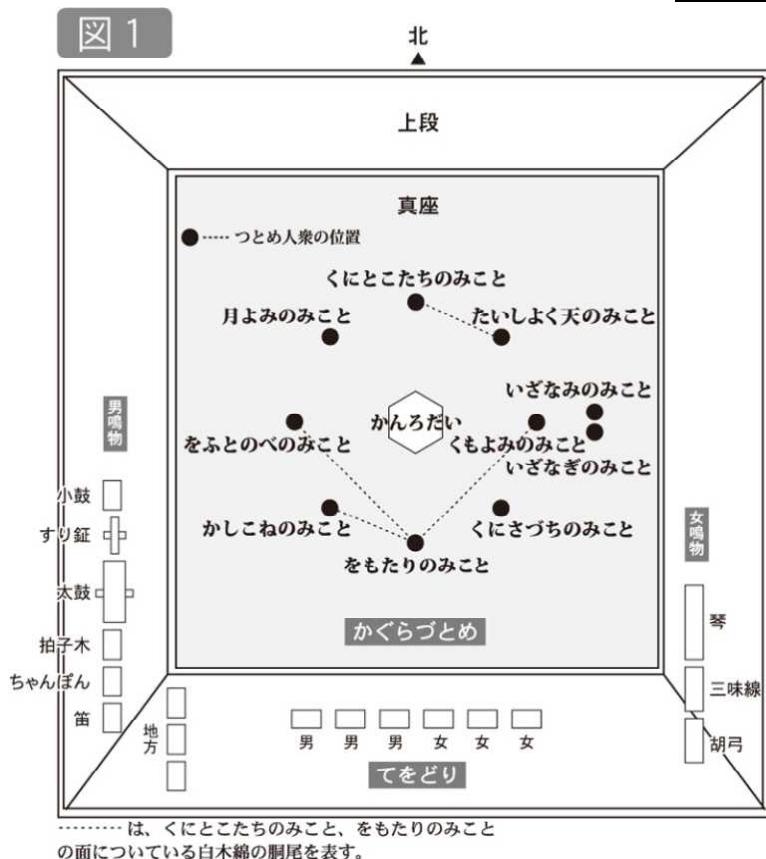
月次祭 9月19日(金) 午前10時～  
婦人会例会 9月9日(火) 午前10時～



残暑お見舞い申し上げます。  
体温に近い暑い日が続いています。ど  
うぞ熱中症に十分注意してすごしまし  
ょう。

7月26日本部登殿参列  
今回初めて、かぐらづとめをしっかりと  
拝させていただけました。

ありがたい。北礼拝場最前列、東の角に着座。  
十柱の神様のうち、七柱の神楽つとめをしっかりと見て唱和しました。  
心配していた暑さですが、まず、詰め所出発時に、小さなペットボトルの水を保冷サック  
に入れて用意してくださっていました。 ↓この辺に着座



結界内で着座中には飲まないようにとい  
うことでした。一応私の対策として、タ  
オルとレオンポケットを使いました。  
詰め所出発時にレオンポケットをつけて、  
センサーは教服の胸ポケットに入れて、  
アプリで弱冷に設定して、長い時間動作  
するようにしておきました。

外見からは付けていることがわからな  
い。しっかりと冷やしてくれました。  
7時に付けて12時過ぎまでは作動して  
いたと思います。

しかし、実のところ、着座して御神楽歌  
を唱和すると、不思議と涼しい風が正面  
から吹いてくる。だから、思っていたほ  
ど暑く苦しくはなくとても気持ちよく、  
参拝しました。

10年に一度のことですから次がある  
とは限らないので、一所懸命唱和するこ  
とが、真摯な気持ちで神と向き合うこと  
になると考え務めました。

しかし、残念なことに、後半の下りにな  
ると、結界内で参列されている人たちの

中には私語を話し出す人がいるのはとても残念。そこに座れるありがたさを忘れて、いつ  
もの姿が出てしまう。それは心通りの守護に繋がるのですから、その姿を受け取られる。  
神様も残念なことだったと思われるのでしょうか。

見るのも聞くのも知らせていただいている、神様からの手紙と受け取って、自分自身も  
改めて気を引き締めてつとめをしなければとこころを定めた次第です。

### 付属建物の屋根と外壁修理塗装準備進む

3月に付属建物の軒天が落ちたことから、いろいろ見積もりなどを行ってもらい、ある会社決めて、9月より工事となります。期間は約1ヶ月。

それに取りかかる前に、足場設置の関係上、周辺の掃除片付けを進めています。

8月月初には、塚原さんの協力を得て、積み上げられていた、タイヤや冷蔵庫、洗濯機などをリサイクル処分。19日より、仲村造園さんに北側及び南側の剪定を依頼。特に北側は、足場を設置するのに空間も狭く私自身が剪定の入りづらいため放置したままになっていました。費用はかかりますが、ここはプロにお願いすることにしました。

ちょっと短めに小さく剪定してもらう予定です。

10月の大祭には、綺麗になった付属建物と植木で迎えられそうです。



### ＜駐車場から見た前栽＞ ＜PC教室から見た前栽＞

駐車場や、旧北側玄関付近の草刈りは自分である程度しているのですが(草刈り機で行いやすいから)、この手の木の剪定は難しい。前会長と違って高いところが苦手。そんなわけでこのところ支部青年会に剪定をお願いしていたのですが、いろいろ忙しいようで、日程が上手く調整できなくて、延び延びになってしまっていた。流石に今回は工事日程が決まっていますから、無理を言って塚原さんと仲村造園さんをお願いしたのです。

思案して、今この時と仕切ってすることは、きっと後押ししてくださると思います。

### ＜おやのころ＞

今回の原稿は、旅先で書いています。

昨日、移動中の電車で、通路を挟んだ反対側に幼い子供を連れた母親が座っていました。線路を走る鉄道の振動が心地よく、少しうとうとしていると、子供がむずかりました。

何かが気に入らないのか、それとも何かに驚いたのか、まだ言葉をほとんど話せない幼子は、母親の問いかけには答えません。戸惑っている母親を尻目に、子供は大きな声で叫び続けています。果たして何が気に入らないのでしょうか。

「安心して居よ／＼。どんな事だろうが、

こんな事だろうが、道の上ならどんな事だろうが、理が残る」

しばらく様子を見てみると、困り果てた母親は子供に問いかけるのを諦め、最後は両手で優しく抱きしめていました。すると、子供は安心したのか、気に入らない何かを忘れてしまったのか、急に大人しくなり、車内に静けさが戻ってきました。

たとえ自分の問題は解決していなくても、母親の胸に抱かれた幼子は、安心して静かに眠っています。親の懷に抱かれた安

心感が、慣れない電車で感じていた不安や不満を上回ったのでしょうか。スヤスヤと寝息を立てる幼子の姿を見てみると、すべてを包み込んでくれる親の存在のありがたさを感じます。さあ、旅先でもまず選擇して、一日を始めることにしましょう。(岡)

今日の  
おやのことば

「安心して居よ」  
安心して居よ。どんな事だろうが、  
こんな事だろうが、道の上なら  
どんな事だろうが、理が残る。



おさしづ 明治33年12月31日

おさしず原文 明治三十三年十二月三十一日 山田清治郎身上願

さあ／＼尋ねる事情／＼、さあ／＼尋ねる処は、余儀無く尋ねるである。  
まあ一つどういう事にも何よの事もどういふもので、こういう事になると思う。思うやない。どんな事も、こんな事も、世上にも同じ事、中に一つ、まあ危ない処も遁れるは、年々の道理で遁れる。

どけな辺所な所、もう危ない所でも、残りて来るは頼りた理である。  
又、わき／＼の処、内々何故であろうと思う。思うやない。必ず思うやない。どんな難しい中でも、抜けて救かる処、聞き分けにやならん。何でこういう事になると必ず思わず、よう聞き分け。

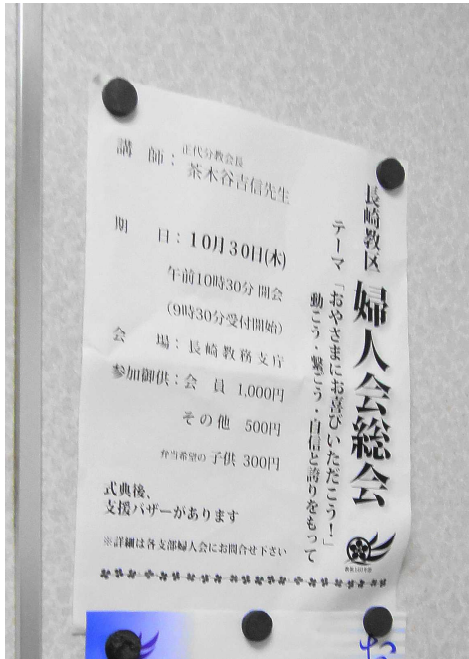
道というは、世上は同じ一つ通りて居る。頼りありても分からん。こんな事と思う。思うやない／＼。どんな事あろうが、この心理に皆一つの理なら、明らかなる処に成る程に。案じな／＼。

安心して居よ／＼。どんな事あろうが、こんな事あろうが、道の上ならどんな事あろうが、理が残る。

末代の理、この理聞き分け。一代と思たら長いようで短い。短いようで長い。この道の一つの理、なか／＼艱難通らして暮れた者もある。これも名残れば末代の理。あちらの書物、こちらの書物に届く理残る。留まる理治まったる。

こんな事と思うやない。これだけ、丈夫な心持ってくれるがよい。

・ ・ ・



8月5日から7日にかけて、長崎を旅してきました。今回は、19年ぶりに行われた夏・長崎からへ参加するための旅です。長崎に着くと必ず参拝するルートが決まっています。まず、長崎駅がすぐ目の前に移動してきた、肥長大教会へ。

無事にたどり着けたこと、これから3日間長崎に滞在ことの報告とその御礼などを申し上げて参拝します。記帳し次へを向かいます。

お守り所からは、今は正面に移ってきた長崎駅と稲佐山。いつもの風景になぜか帰ってきたなあ、と思うのです。おちばから遠く離れた長崎。神殿へ向かうエレベータの中の掲示物に目がとまることがあります。その内容を見てあらためて大阪というおちばまで1時間あまりのところに住んでいることの有り難さを再認識させていただけるのです。

旅をするとここにも教会がある、こんな山の中にも教会があると驚くことがあります。

全ての教会に立ち寄ることは出来ませんが、世界中にある教会は、それぞれ神様が祀られていて、それこそいろいろな

人が寄り合って一生懸命に勤められているのだと思います。

少子化や人口減少などでいろいろ見せていただくことが多くなったと思います。

「末代の理、この理聞き分け。一代と思たら長いようで短い。短いようで長い。この道の一つの理、なか／＼艱難通らして暮れた者もある。これも名残れば末代の理。あちらの書物、こちらの書物に届く理残る。留まる理治まったる。」

勢いがあるときもあれば、どうしても伸びないときもある。苦しく難儀するときもある。でも、一所懸命歩んだ道すがらが、いろいろな人の心に喜びの花を咲かせるようであれば、きっとあちらこちらに、そのことが記し名前が残される。末代の理となる。

形ばかりにとらわれないようにしないと、本質を見失ってしまうのかもしれない。

その人や教会が歩んできた道は、神様は時空を越えて受け取っておられて、そのことは忘れられることはない。どのような立場の人が、どう言っても神ではない。あくまでもその人の経験値からの意見しかない、その意見をどう受け取り、しっかり思案して自分のものとして行動することで、神様が後から推してくださるのだと信じる。

# 全教一斉にをいがけデー 9月28日～30日

年祭に向けての仕上げの  
にをいがけ活動！

ようばく一斉活動日 最終回  
立教 188 年・2025 年

・11月1日(土)  
錦分教会 午後1時～  
小山田分教会 午後1時～

・11月2日(日)  
梅乃分教会 午前10時～  
浪和分教会 午前10時～

各会場で内容が変わります、  
是非お問い合わせでご参加下  
さい。

参加御供 300 円  
(子連れの場合、中学生以下  
は不要です)

各会場へのアクセスは、  
支部ホームページを参照下さい

## ※支部一斉活動日

集合 富田林市民会館  
9月30日 13時30分



### 【活動内容】

参加者が4名程度のグループに分かれて富田林市民会館周  
辺の住宅地への個別訪問、およびリーフレット配布。  
終了後は各組での行事。

## ※主要各駅でのにをいがけ

9月28日～30日 9時～ 1時間程度

【集合場所】・河内長野駅・三日市町駅・富田林駅  
・金剛駅・滝谷不動駅・喜志駅

【活動内容】駅前での神名流し・路傍講演・リーフレット配布  
を行います。

\* どちらの活動もどなたでも参加いただけます。  
どうぞ、誘い合って参加下さい。  
各会場の場所については支部ホームページを参照下さい。



天理教南河内支部 河内長野市小塩町 333 Tel64-1911

<https://minamikawatea.net>

## 夏長崎から 2025 旅行記

今回は 19 年ぶりに開催となった夏・長崎からへ参加するための旅。  
私たち夫婦が出会ったコンサート。ですから聖地巡り、原点回帰。  
8 月 5 日初日は、レンタカーを空港で借りて、まずは稲佐山の会場へ。  
偵察したところ、嫁さんはここでリハーサルを聞くということで、私と娘は下山して、恒例聖地巡礼挨拶回りへ。肥長大教会へお礼と感謝の参拝。

そこから、諏訪神社は三日目にして、自由飛行館（さだまさしの茶店）へ。ここでランチの予定が、並んでいると予定オーバーで食事が出来ないということを玲子さんに告げられたので、お世話になった方へのお供えを玲子さんにお渡ししてピースミュージアムへ。



Marie さんの作成の小物を預けて手土産をお渡しして、ちょこっと買い物。これがことのほかあとで役立つことに。Marie はサコッシュ、私はエコバック。まさかこれがこの旅行で大活躍でした。

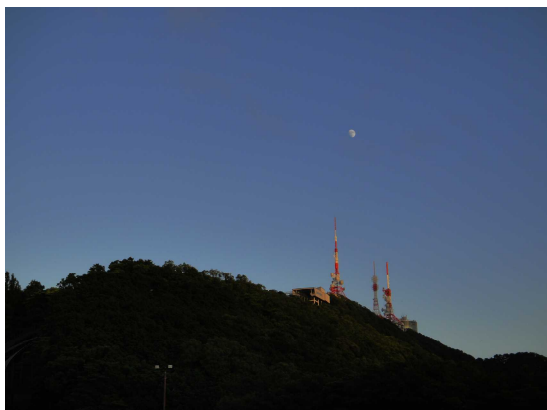
久しぶりに昔あったグラバー邸の横まで坂を上る。いろいろな店は変わって歩いている人も日本語以外の方が多いような中を歩く、昔あった店屋まで行って、ここでのことを思い出したりしてね。すると娘が、この登り口に立っている夢を見ることがあると・・・そこにはその日なんと！チリンチリンアイスがあった！

ひさしぶりにバラの形のチリンチリンアスを二人でおいしくいただいたりして。

近くのガストでランチして、嫁さんと連絡を取ると、必要なものを買ってホテルにチェックインして荷物を受け取って上ってきてほしいという連絡。いつものように中華街に隣接するイオンへ。地下食品売り場でお弁当などを買ってホテルにチェックイン。車で稲佐山へ。

山の上はやはりすごしやすい。風が吹いてリハーサルの音が聞こえて気がつくと同窓会に。この、「夏・長崎から」がきっかけで知り合った人たちや全く知らない人といろいろな話をするのがほんと楽しい。それぞれが歩んできた道を話をすることの充実する気持ちは、顔と顔を合わせて話すから伝わるものがあるのだと改めて感じました。

結局 8 時過ぎまでリハーサルを楽しんで長崎港の前回来たとき見つけた美味しそうな海鮮丼の店に滑り込んで、本当においしい魚をいただきました。

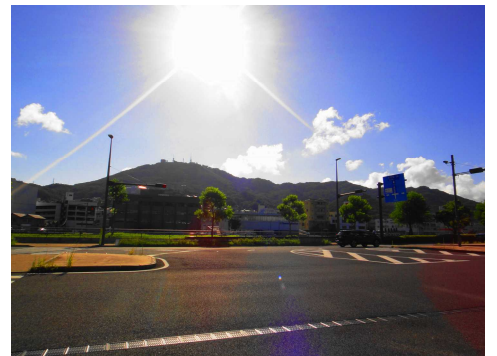


8 月 6 日は広島原爆忌。

その朝、嫁さんは 6 時に会場へ向かった。  
おそらく昨日の順番が無効になるだろうとの読みからの行動。

連絡があって、娘を送り順番を確保。私は、チェックアウトせずに、必要な物を買うため待機。8 時から TV をつけて広島慰霊祭を見ながら、黙祷の場面では神名を唱えて合掌。

各代表の挨拶を聞いて、一番素晴らしかったのが広島県知事の挨拶だった



引用 【「核武装が最も安上がり」を喝破する挨拶】

人類史上初めて、広島に原爆を落とされて 80 年。この節目にさまざまな要人が追悼の挨拶を語ったが、湯崎英彦広島県知事の挨拶に注目したい。

7 月の参院選で初当選した参政党の国会議員が、選挙中に「核武装が最も安上がり」と発言したことに對して、論理的かつ冷静に喝破する内容だ。

「喝破」とは、堂々と論じて真理を明らかにすること。または非常識な言動に異を唱えること。特定の政治家や政党に与することは全く無いが、

人類普遍の問題に対して、おかしいことはおかしいと言わなければ、非常識がまかり通る社会になる。以下、全文を書き留めたい。

＜湯崎英彦・広島県知事あいさつ＞出典元

<https://newsdig.tbs.co.jp/articles/rcc/2091331?display=1> 是非読んで下さい →



屋前に必要な物を買って、ホテルをチェックアウト、今夜のホテルに向かい手続きを行う。荷物と車を預けて、必要な物を持ってタクシーで会場へ。

すでに長蛇の列。何度か並び直し整列が行われる。いるんですよ毎度のことながら、知り合い見つけて前に割り込もうとするグループ。今回は徹底排除されました。さすがに今回は堪忍袋の尾が切れました。自分たちのことしか考えていないから、整列し直したとき 7 人のはずが 9 人いる。明らかに周りからいなかったという指摘をされても自己主張しかなし。その 2 名のわがままのために、係員が整列の作業を進められない。本来であれば

もう一度並び直せといたいところを、2 人分だけ下がることで下がることで収まるのが理解できない。どれだけ迷惑をかけているのか理解不能に陥っている。それが戦争の原因なんだということもわからないのだろうね。情けない駄目大人 2 名でした。

ちなみにこの 2 名、終演後、規制退場で、後ろから退場しているにもかかわらずいつの間にか消えていました。ここにもわがままが見えてくる。何も理解していないし反省もしていないねえ。

我さえ良ければ、自分のことだけが大切な極みです。今回、開場される前に、物品販売などが行われていたので、かき氷食べたり、風に立つライオン基金への募金になるステッカーを買ったりしていました。まあ入場前にそんなことがあったのですが、3 時には無事入場。



娘と二人で 4 人分の場所を確保。開演までは 2 時間。炎天下ですが、長崎市内が 30℃前後、稲佐山山頂が 333 m ですので 3℃くらいは涼しい。その上風があるからかなり楽。

問題はこうせつさんがいつ来るのか！

前説で、談春さんが登場。総合司会だとか？・・・

印象的だったのが Insheart 現役医師・ミュージシャンさん <https://insheart.net/>

応援していきたいと思いました。どっこいしょ！

あとはBSでの放送を楽しみに～

ああ、右肩が痛いぞー



9 時終演。規制退場を待つ間、片付けして水分補給して、腰を伸ばして、ステージをバックに記念写真撮影。ここでとんでもないことが！

なんと、ここ 2 年ほど会ったことのある人物が、実は以前からの知り合いだったことが発覚！ナント 30 年ぶりくらいにお互いを認識できて感動。こんなことがあるのですね。

私の名刺を渡して名前を認識して声を聞いて再構成され私も記憶の糸をたぐって繋がってびっくりの再会。今後は情報交換することでお互い名刺股間出来て良かった。

これも引き合わせですね。いろいろあったけどそん

なことはどうでも良くなった時の流れでした。タクシー待ってホテルに帰り着いたのが 23 時 40 分くらい。

8 月 7 日 夏・長崎から一夜明けた。

どんよりと曇っていた。少しゆっくりの起床とはいっても、5 時 20 分には目が覚める。

7 時過ぎに全員で朝食会場へ。ここはビュッフェスタイルなので自分で食べたいものを食べることができるだけ選ぶ。無駄にはしない。この日の予定は、私と娘は野母崎へ。嫁さんは挨拶回りへ。荷物を整え、ホテルから自宅へ宅配を頼む。

快適なホテル。大好きなホテルの一つです。ルークプラザホテル。今回は山側を選びましたが海側を選べば、長崎の夜景も楽しめます。車でまずはおすわさんへ。全員で参拝。

これも恒例。そして、嫁さんは墓参りに行くというので車で近くまで送る。誰の墓って？そりゃ、まっさんのご両親の墓です。

長崎ではいろいろ世話になったこともありましたがからね。だから自由飛行館では霊前にお供え物を供えてもらうために訪れたりするのです。私たちは、ここから野母崎を目指します。

目的地は野母崎にある恐竜博物館。https://nd-museum.jp/

ここでは今、特別展示令和 7 年度夏企画展「ポケモン化石博物館」



が行われているのです。この展示、全国の博物館を転々としていくところが味噌。

ポケモンを通じて古代の生き物に興味を持ってもらう素晴らしい企画。我が子たちも、ポケモンで育った世代だから今でも楽しんでいるのですよね。今回、長崎に滞在中でしかもレンタカーなので移動可能。時間も飛行機は夕刻、天気は雨。

ということで娘と二人でドライブ。市内からおよそ 40 分。ここに来て、借りたレンタカーのナビの案内が遅いためにヒヤヒヤ。市内は一応知っているのと何とでも対応できるのですが、このあたりはさすがに知り尽くしている場所じゃないので、案内指示がなかったり遅かったりするのには振り回されました。

そんなこんなで、恐竜博物館。企画展と常設展を見たのですが、良い内容でした。

私たちは常設展から見たのですが、あれは、企画展を見て常

【葉月のことば】  
世に痴者二つあり。  
その一つは神を祈らざる人なり。  
その一つは事を行はざる人なり。  
— 鈴木重胤「延喜式祝詞講義」—  
痴者とは愚者のことです。第一の愚者は神の有り難さをしらず、神に祈り感謝の心を持たない人のことをいいます。  
令和七年八月

設展を見るのがベスト。企画展で、ポケモンとその原型とも言える恐竜を比較したパネルがあって、名前と姿が展示されている。ポケモンを知っている人ならそれだけで面白い。

そして、常設展では、骨格模型が展示されているのだが、ネームプレートにそれをもとにしたポケモンの名前が書かれている。先に見たイラストが実物の大きさに現れる。

子どもも大人も楽しい展示となっていた。

ちゃんと自由研究に使えるようなところもあってよく考えられていました。

雲行きが怪しくなってきたので長崎に向かって



合流することに、目的地は中華街。

江山楼はツアーのグループで満席。一般は 13 時 30 分からとなっていた。

嫁さんはとりあえず予約して待っていた。13 時 30 分過ぎ案内されて 2 階へ。待ちに待った特上ちゃんぽん、焼き飯、唐揚げを 3 人で分け合って美味しくいただく。

さて時間を考えて空港へ向かうことに。今回のレンタカーは空港警察の並びにあるので、そこで受け渡し。丁寧で親切でした。

<https://another-rent.com/>

特に出発時に長い傘を貸してもらえたのは、今回とても助かりました。

チェックインを済ませて、お土産を買い足す。少し早めに搭乗口を通過。そのときは遅延が発生していることがわからなかった。中に入って神戸行きの搭乗口に腰掛けていると、東京行きの JAL が出発が 1 時間 30 分遅れるとか、大阪行きの ANA が 1 時間 20 分遅れるとか、スカイマークの神戸が 10 分遅れるとかのアナウンスが何度かされる。

説明としては JAL のアナウンスで航空路の混雑によるものとの一言、それ以上の説明はない。

まあ、到着しないと飛べないわけで、外はひどい天候には見えないから????でした。遅れはしたものの無事神戸について 7 時過ぎに帰宅。

帰宅後、娘が館内放送で落雷があったことを放送していたけど聞き取りにくかったなあ。と言っていました。7 日は、羽田が落雷で閉鎖となって全国の空港で欠航となったりしていたんですね。情報を掴むことの難しさを感じた帰りでした。

